

- ・ 近代的な港湾インフラ
- ・ 大洋間鉄道
- ・ 南北アメリカのハブ空港

## 港湾システム

### インターナショナル マンサニージョ港(MIT)

カリブ海にあるラテンアメリカで最大のコンテナ専用埠頭（年間160万個のコンテナを輸送）。



### コロン・コンテナ ターミナル(CCT)

年間およそコンテナ100万個分の設備容量を持つカリブ海の港。

ハッチンソン・ワンポア社の

パルポア・ターミナル(PPC)

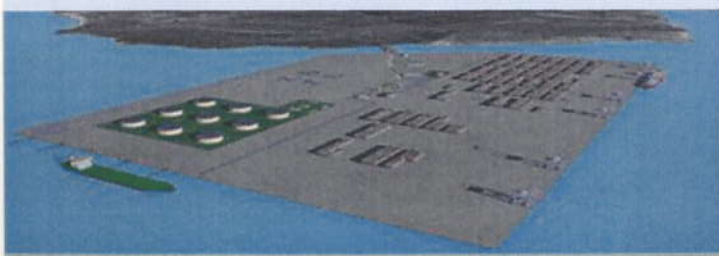
ラテンアメリカの太平洋側で最も大量の商品輸送を誇る港。

## 太平洋側にメガポートを建設

現在、パナマ政府はメガポート建設のために国際入札を行っています。メガポートはパナマ運河の太平洋側に位置し、現在の210万個から完成後は500万個のコンテナを扱えるようになります。



- ・ コンテナ港の開発
- ・ 運河からプロジェクト地点まで船舶がアクセスできるようにするため、約1600万㎡の土砂を浚渫。
- ・ インフラ評価: 船舶の停泊地として200ヘクタール及びコンテナ倉庫としての土地



# パナマ・太平洋の 経済特区

## AAEPP または ハワード

AAEPPの主な目的は、物流プラットフォームと通信システムを商業・金融・専門的知識を持った質の高いサービス産業と結びつけることです。それが実現すると、ハワードは国際貿易の重要な貿易拠点になるでしょう。

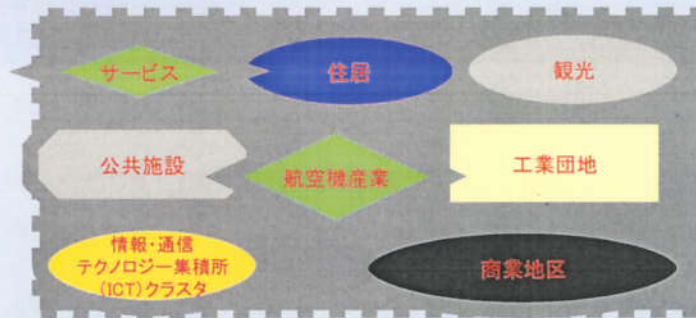
### インフラ

- ・ 5000エーカーの広大な土地
- ・ 728戸の住居
- ・ 40棟のビル(商業、及び産業活動用)
- ・ 9万平方フィート相当の4つの飛行機の格納庫
- ・ 空港 (滑走路: 2.5 Km.)
- ・ コミュニティー施設 (プール、テニスコート、劇場、病院、教会、学校または訓練施設)
- ・ 総資産評価額 = 15億万米ドル

### 特別法的 インセンティブ

- ・ 税制
- ・ 労働、関税、移住
- ・ ワン・ストップ・オフィス:

1箇所の窓口で必要な手続きがすべて完了するサービスを提供



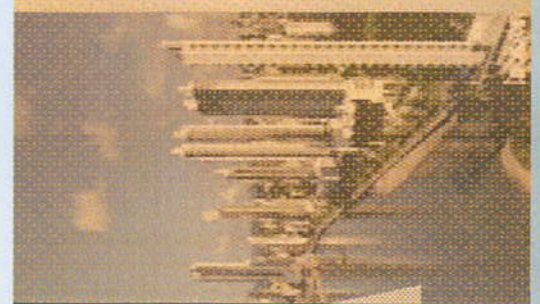
在日パナマ共和国大使館 (著作・再編集: 2008年)  
〒106-0031 東京都港区西麻布4-12-24第38興和ビル902  
TEL: 03-3499-3741 FAX: 03-5485-3548; E-mail: panaemb@gol.com  
URL: <http://www.embassyofpanamainjapan.org> (英語・日本語)

在東京パナマ総領事館  
TEL: 03-3499-3661 FAX: 03-3499-3666  
E-mail: pacotj@mb.newweb.ne.jp (一般)  
E-MAIL: [panacontokyo-shipreg@m6.dion.ne.jp](mailto:panacontokyo-shipreg@m6.dion.ne.jp) (船舶)

在神戸パナマ総領事館  
TEL: 078-392-3361 FAX: 078-392-7208;  
E-mail: [panacosj-kj@ma.newweb.ne.jp](mailto:panacosj-kj@ma.newweb.ne.jp)

パナマ海運局 (AMP): [www.amp.gob.pa](http://www.amp.gob.pa) (英語・スペイン語)  
パナマ運河庁 (ACP): [www.acp.gob.pa](http://www.acp.gob.pa) (英語・スペイン語)  
AAEPPエージェンシー: [www.aaepp.gob.pa](http://www.aaepp.gob.pa)  
E-mail: [promotion@aaepp.gob.pa](mailto:promotion@aaepp.gob.pa)

なぜ



## 一般的なメリット

- ①. 国籍を問わずすべての個人及び法人に開かれたパナマ船籍登録制度
- ②. 迅速な船籍登録(おおむね8時間で手続き完了)
- ③. 国内外金融機関によってサポートされた船舶抵当制度が確立
- ④. 時差に関係なく24時間対応可能
- ⑤. 世界の主要な海運国の60ヶ所にパナマ領事館を配置
- ⑥. 品質システムの採用
- ⑦. GIS、STCW78/95等の海事保安に関する国際条約を遵守
- ⑧. 条件により免税または割引などの優遇措置あり
- ⑨. パナマ籍船を所有する船主及び船舶管理会社は会社法の恩恵を享受
- ⑩. 最低トン数の規定なし(建造20年以上の船舶は特殊検査が要求されます。)



1. 迅速な安全検査システム
2. 部員及び職員を自由に選択
3. 税制上のメリット
4. パナマ船籍登録料は最大6,500米ドル
5. 国際間で活動するパナマ籍船の運行による利益は非課税
6. 在日パナマ領事館(東京・神戸)では、効率的かつ迅速なサービスを提供
  - 例) a. 仮国籍証書及び仮無線証書の発行
  - b. 船舶を売買する際の所有権・抵当権の登録と証書の発行
7. パナマ海運局が認可した機関(日本海事協会など)による船舶検査(インスペクション)の実施やテクニカル証書の手配・発行
8. 世界各国の金融機関のパナマ籍船に対する信用度は高く、船舶を担保とした融資が受けやすい。
9. 時間外設定制度を利用した迅速な仮登記(抵当権の抹消・所有権登記・新たな抵当権の設定など領事館を通じて申請)



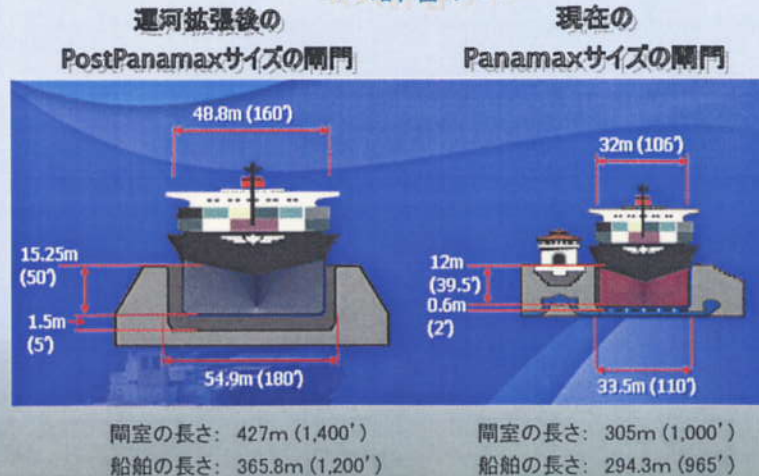
# パナマ運河

## ひと目でわかる情報

建設期間: 1904年から1914年にわたる10年間  
 総工費: 3億7500万 米ドル  
 全長: 80キロ  
 年間予算 (2008年度): 20億2810万 米ドル  
 海軍事業収入 (2007年度): 17億6000万 米ドル  
 航行時間: 24~25 時間(待ち時間無しの場合、8時間)  
 年間平均船舶航行数: 13,000~14,000隻  
 一日当り平均船舶航行数: 35~40隻  
 船舶航行合計数 (2007年度): 14,721隻  
 (そのうち、6,230隻は船舶最大許容サイズPANAMAX)  
 事故数 (2007年度): 10件  
 総貨物量 (2007年度): 3.億1270万 PC/UMSTN  
 閘門数: 3ヶ所  
 太平洋側: ミラフローレス閘門(2段階のチェンバー)  
                   ペドロ・ミゲル閘門(1つのチェンバー)  
 大西洋側: ガトゥン閘門(3段階のチェンバー)  
 大型船の通航に要する水量: 約1.97億リットル  
 (回収不可能であり、経費のかからない雨水)

国際貿易の5%に直接関与。  
 80カ国以上の仕向地に120航路のアクセスを提供。  
 70万人の乗客と乗組員の輸送。

## パナマ運河における最大許容サイズ



## 日本の国際貿易における短距離航路

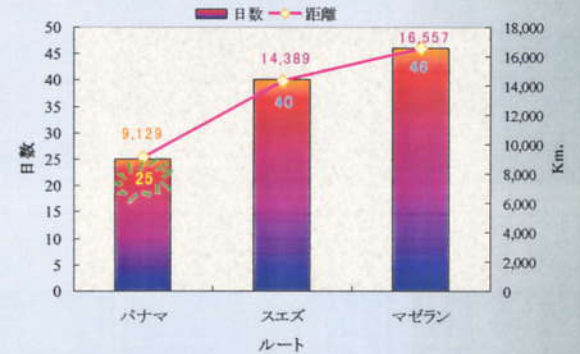
何故パナマ運河に目を向けるべきなのでしょうか。

船種や速度により異なりますが、太平洋から大西洋に抜けるルートとして、パナマ運河経由であれば、マゼラン海峡を回る航路と比べ、21日間もの日数が短縮できます。

パナマ運河航路を利用するとスエズ運河航路やマゼラン海峡航路よりも距離が短く、運賃が安くなります。パナマ運河を通ると、燃料費以外の経費は別として、燃料費がスエズ航路よりも57.6%、マゼラン海峡航路(ホーン岬を回る航路)よりも81.4%節約できます。

船舶会社は、貨物の積み替え(Transshipment)により、様々な資源を節約できるばかりでなく、仕向地の選択肢が大幅に多様化し、その結果、価格競争の促進にもつながります。

ニューオーリンズ~横浜ルートの比較表



## パナマ運河拡張

### 目的

- 顧客へのサービス改良と、需要の伸びに対応するための能力強化
- 運河の競争力の維持
- 運河の生産性、信頼性、安全と効率の改

### 総括

- 3段階閘門設備2機の建設
- 新閘門アクセス水路の建設と既存の航行運河の拡幅および深度増大
- 最大業務レベルに到達するためのガツン湖の(水面)上昇

### 予定および経費

建設工事期間: 2007年~2014年  
 船舶航行開始予定: 2015年以降  
 総経費: 約52億5000万米ドル

### 所在地

一機の閘門設備が既存のミラフローレス閘門の南西太平洋岸に配置されます。もうひとつの閘門設備は、既存のガツン閘門の東側に設置されます。

### 機能方法

- 各閘門設備は3つの異なる高さの閘室(コンクリート製の部屋)から成ります。形状は既存のガツン閘門に類似しています。計画では両側にそれぞれ1つの閘門を持つ新しいレーン(水路)が作られます。
- 閘門の各閘室は水を節約するための3つの貯水槽を擁しています。これにより、航行ごとに60%の水は再利用できます。